

第2回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和2年5月22日（金曜） 午前9時30分 開会	
	休 憩 9:49-9:50、	
	午前10時19分 閉会	
会議場所	役場3階 第1委員会室	
出席委員 氏 名	委員長 梶澤 幸治	委員 立川 美穂
	副委員長 中村 和宏	委員 渡辺洋一郎
	委員 正村紀美子	委員 常通 直人
	委員 鈴木 健充	議長 早苗 豊
欠席委員 氏 名		
説明等に 出席した 者の氏名	町長 手島 旭	
	副町長 佐野 寿行	
	総務課長 安田 敦史	
事務局職員	事務局長 仲野 裕司	総務係長 佐藤 史彦

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- ア 令和2年芽室町議会定例会6月定例会議の運営について 資料1
- イ 議会だより6月号の編集について 当日資料2
- ウ 令和元年度第3回議会モニター会議について 資料3
- エ 令和2年度議会活性化計画書・令和元年度議会活性化計画最終評価書について 資料4
- オ 町民アンケートの結果について 当日資料5
- カ 文書質問の取り扱いについて 当日資料6

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程（予定）について
- (2) その他

2 議 件 (1) 調査事項

- ア 令和2年芽室町議会定例会6月定例会議の運営について 資料1
 - ・総務課長：資料1-1説明。
 - ・中村委員：資料1-2説明。
 - ・委員長：それぞれ提案予定事項について説明あったが、質疑は。

- ・正村委員：各委員選任同意の件について、これまでは1議案であったが、今回は1人ずつの議案としているが、根拠法はどのようになっている、これまではどのように解釈をしていて、1議案としてきたのか。また、今回なぜ1案件ではなく、複数として提案することになったのか。
- ・副町長：3年前の農業委員の制度改正に伴って、同意いただきたいというときの、議会と理事者側との議論。これらを踏まえた中で、そのときの提案の仕方ありきではなくて、議会事務局とも事前に相談させていただいていたが、人事案件は1人1議案が原則というのが議会サイドの見解ということもあり、理事者側としては前回と同様の提案を想定していたが、こちらの思いだけではなくて、議論の中で整理をしていただければ、ということで、今回、そうした提案をさせていただいた。このあと、議会運営の中で、議案審議の中で整理をしていただければ、1議案17人という提案に修正することも可能でありますので、理事者側から、こうしてほしいということではないことも理解いただきたい。
- ・委員長：今の説明の通り、1人1議案が原則であり、原則に基づいた提案である。そのうえで議案審議については、基本的には、議運中での協議というよりは、議長の議事整理権のなかで整理するべきものとするが。
(異議無し)
- ・委員長：この案件については、提案のとおりとしたいが。
- ・正村委員：今の件、委員長がまとめようとしたが、これまでも議運の中で、複数案件の審議のあり方は議運の中で決定をしてきたと思うが、この件についても、議運の中で協議をすべきである。
- ・委員長：他に意見は。
- ・立川委員：議長の議事整理権というよりは、議会運営に関しては議運で協議をしていくべきではないか。
- ・委員長：他に意見がないので、では、人事案件の審議については、どのように進めていくか意見を。
- ・立川委員：提案のとおり1人ずつ審査すべき。
- ・正村委員：これまでの経緯もある。今回1案件ごとに提案ということであるので、1人ずつ審議をしていくということで良いのではないか。
- ・委員長：1人案件ずつ審議をしていくということであるが、他、異議はあるか。
(異議無し)
- ・委員長：人事案件については1人1議案として審議していくということで決定する。
- ・委員長：次に審査方法について。
- ・中村委員：資料1説明。
- ・委員長：まず2について質疑あるか。なければ以上で決定する。
(質疑無し)
- ・委員長：次に3について。
(質疑無し)
- ・委員長：次に4について。

(質疑無し)

- ・委員長：次に5について。

(質疑無し)

- ・委員長：記載のとおり決定したい。

イ 議会だより6月号の編集について

当日資料2

- ・正村委員：資料説明。

- ・委員長：質疑は。

(質疑無し)

- ・委員長：このまま編集を続ける。

ウ 令和元年度第3回議会モニター会議について

資料3

- ・事務局長：資料説明。

- ・委員長：まずアンケート内容については既にご了承をいただいたものであり、今回、各委員会の取組み等を加えている。アンケートは5月25日に送付し、提出期限は6月8日としている。資料3-1について質疑はあるか。

(質疑無し)

- ・委員長：次に、資料3-2のアンケートについて意見は。

(質疑無し)

- ・委員長：次に、資料3-3について質疑等は。

(質疑無し)

- ・委員長：この内容で決定する。

エ 令和2年度議会活性化計画書・令和元年度議会活性化計画最終評価書について

資料4

- ・事務局長：資料説明。

- ・委員長：追加点について質疑は。

(質疑無し)

- ・委員長：これをもって完成としていく。また次回全協で報告をしていく。

オ 町民アンケートの結果について

当日資料5

- ・総務係長：資料説明。各設問について集計したものを資料としている。

- ・委員長：議会活性化策の検討に、この結果を反映していくということもある。どのように反映していくか、協議をして、ある程度の方向性を出していきたいが。

- ・委員長：今日は結果の説明であったが、この結果をもとに論点整理が必要である。今回の結果を受けて、議会運営につなげていくことは確認したいが、委員会の他にミーティングでの協議もありえるが。またアンケートの感想でも良いが。

- ・委員長：この結果分析、反映について、どのような視点で進めるべきか意見を。

- ・正村委員：町民からの率直な声として受け止めるべきである。反省すべき点、見落としていた点、取り組みの意図が伝わっていないなど、様々なことが分かる。時間

をかけずにミーティング等で協議をしていくことが良い。

- ・中村委員：各設問への回答であるが、年代別の回答など詳細を調べなくてはならない。関心度や考え方など、年代によって相違があると思う。その点含めて、詳細な調査、議論が必要。議会だよりの毎月発行もあり、議会だよりを情報源としていく大きな数字をいただいたと思うので、情報提供ツールとしての議会だよりの取扱いも重要である。
- ・委員長：共通の意見をいただいた。結果を真摯に受け止める、結果をもとにミーティング等で協議、活性化に反映していくこととしたい。

カ 文書質問の取り扱いについて

当日資料6

- ・委員長：5月20日に、正村議員から議長に通告があった文書質問である。回答の期日を決めていきたい。過去の例では2週間としていたが、同様の日程でどうか。(異議無し)
- ・委員長：回答期限を2週間とする。6月4日(木)の17時としたい。(異議無し)

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

- ・正副委員長一任

(2) その他

① 令和2年度議会サポーターの委嘱について

その他資料1

- ・事務局長：引き続き8人のサポーターについて、ご承引いただけるよう委嘱をしていきたいが、協議を。
- ・委員長：この内容でどうか。(異議無し)
- ・委員長：この内容で委嘱をしていく。

② 6月定例会議運営に関する留意事項について

その他資料2

- ・委員長：確認であるが、基本的には、5月臨時会議に向けた議長見解を継続するものであるが、改めて、6月定例会議に向けて確認していきたい。全議員に周知をしたい。(異議無し)

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和2年5月22日

議会運営委員会委員長 梶澤 幸治